

ようこそ、本校ホームページにお越しくださいました。

今年は、久しぶりに梅雨らしい天気が続いています。この時期の花と言えば紫陽花が連想されますが、紫陽花の花言葉には、「移り気」、「冷淡」、「無情」、「高慢」のほか、「辛抱強い愛情」、「家族の結びつき」という前向きなものもあるんですね。これほどたくさんのお花言葉があるのは、紫陽花の持つ特性に起因する多様なイメージがあるからなのでしょう。人の心は、必ずしも安定して穏やかでいつづけられるわけではありませんが、できれば、常に前向きに物事を考え、判断し、行動したいものです。

この度、生物生産科3年生がJR新見駅南西の花壇にマリーゴールド、サルビア、インパチェンス、ペチュニアの花3,000株を心を込めて **Welcome** の文字に、寄せ植えしました。これは、季節運行する特別列車「トワイライトエクスプレス」が新見駅に停車する際のおもてなしとなるよう、新見駅から要請を受けて行ったものです。列車内から、ホームから、ご覧いただくお客の皆さんの心にも「花」が添えられることを願っています。

先日、保護者の方とご一緒する機会がありました。その方は、できる限り自動車を使わず、歩くことを心がけているということでした。「歩くことによって日々の季節の移ろいを五感で感じ、何かしら得られる小さな発見に心を動かされることを楽しんでいる。」と目を輝かして話されました。「多くの方が雨の日を嫌われますが、雨後には草木が洗い流され、緑が鮮やかになるから私は雨の日も好きなんです。」とも。また、「装飾品を身につけるより、本を読んだり、講演を聴いたり、人とふれ合うことが内面を磨くことになり、結局はその人の財産となる、一度きりの人生、いろいろなことに挑戦して楽しみたいんです。」ともおっしゃっていました。実に前向きです。いくつになっても、好奇心を持ち続けること、決して後ろ向きにならず、たとえ失敗しても落ち込まず、次のステップへの肥やしとすること等、豊かな人生を送るための方程式の数々を頂戴した思いです。

開く人生と、その反対の人生があるとすれば、日ごろから感受性豊かに心のチャンネルを「開」の状態にし、心身の新陳代謝を盛んにして、夢広がる人生にしたいものです。

先週、2年生が3泊4日の修学旅行から帰ってきました。PTA評議員会で2年生の保護者の方々から口々に、思い出の残る修学旅行となり、お子さんが大変満足して帰ってきたとのご報告をいただきました。

交流事業として、生徒は、ここ1か月の間に、小学生の皆さんにLEGOロボットのプログラミング出前授業やパソコン教室において、先生役をしながら学習支援をする機会を得ました。また、商業店舗での販売実習では地元の方々に多大のご支援をいただきました。ここに厚くお礼申し上げますとともに、日ごろの学習が、実践の中で役立っていることが生徒たちの自己有用感に繋がっておれば嬉しい次第です。

一方、部活動では、新たに陸上競技においてインターハイへの出場が決まるなど、嬉しいニュースが入っています。

笑顔の絶えない学校、明るくあいさつのできる学校を目指してこれからも、教職員一丸となって努力します。引き続き、応援をよろしく願いいたします。

平成27年7月1日

岡山県立新見高等学校長 石田 均